

2009年12月9日

各位

イオン株式会社

イオンの北米事業戦略の方向性について

この度当社は、米国タルボット（The Talbots, Inc.：ニューヨーク証券取引所上場、以下タルボット社）、タルボット社の100%子会社であるTalbots Acquisition Inc.、BPW Acquisition Corp.（以下BPW社）の3社により締結された合併契約に伴い、本合併契約完了時に、当社子会社イオンUSA（AEON (U.S.A.) Inc：以下イオンUSA）が保有するタルボット社の全株式を譲渡し、当社とイオンUSAがタルボット社に対して保有する全債権の返済を受けることについて、当社取締役会で決議いたしましたのでご報告いたします。

記

1. タルボット社、Talbots Acquisition Inc.、BPW社の3社間の合併契約
BPW社は、特別買収目的会社（Special Purpose Acquisition Company、以下SPAC）として、アメリカン証券取引所に上場しています。SPACとは、事業買収を目的として設立した会社（約350百万ドルの現金を信託口座に保有）です。合併スキームは、BPW株、BPWワラントに対してタルボット株を交換して合併を行う予定です。（株式交換比率は、クローリング前のタルボット社株価により変動）
なお、イオンUSAはタルボット社の株主として合併決議に際して合意を表明しております。
2. 当社とイオンUSAの保有するタルボット社株式譲渡・債権返済契約
本合併契約締結と同時に、タルボット社・BPW社・イオンおよびイオンUSAを契約当事者とする株式譲渡・債務返済契約を締結いたしました。本株式・債務契約に基づき、イオンおよびイオンUSAは、本合併契約完了時に、保有するタルボット社全株式をタルボット社へ譲渡し、同社に対して保有する全債権の返済を受けることとなります。
3. 当社2010年2月期連結業績への影響
今回の契約に伴う当社2010年2月期連結業績への影響はありません。

以上

ご参考として、タルボット社の第3四半期決算リリース文とその日本語訳を添付いたします。また、上記契約に関する詳細はタルボット社が昨日発表したリリースをご覧ください。

ご参考

タルボット社は好調な 2009 年第 3 四半期決算を発表

- 予想を上回る第 3 四半期業績
- 商品荒利益率は大きく上昇
- コスト削減は継続

- 負債比率を減少させ成長を加速するための包括的資金調達策を打ち出し

2009 年 12 月 8 日、マサチューセッツ州ヒンガム・タルボット社（ニューヨーク証券取引所:TLB）は本日、2009 年 10 月 31 日に終了した第 3 四半期の業績を発表した。継続事業の調整後純利益は 17.2 百万ドル（希薄化ベースで 1 株当たり 0.31 ドル）で、リストラ・減損費用を除く。前年同期の純損失は \$12.4 百万ドル（1 株当たり 0.23 ドル）。

公表（米国 GAAP）ベースでは、第 3 四半期の継続事業の純利益は 15.5 百万ドル（希薄化ベースで 1 株当たり 0.28 ドル）であり、これは 1.7 百万ドル（1 株当たり 0.03 ドル）のリストラ・減損費用を含む。2008 年 11 月 1 日に終了した前年同期の純損失は 14.8 百万ドル（1 株当たり 0.28 ドル）で、2.4 百万ドル（1 株当たり 0.05 ドル）のリストラ・減損費用を含む。

サリバン CEO コメント:「当社の第 3 四半期業績は、高度に規律付けされた業務運営及びビジネスパフォーマンスを向上させ利益率を回復する戦略的イニシアティブの着実な執行の表れと言えます。特に商品提供の拡大及び在庫・費用の厳格な管理における、過去数四半期にわたる努力により、より強く無駄なく利益を出せる体質の組織となりました」

第 3 四半期のハイライト

- ・調整後の継続事業の純利益は、前年同期に比べ 30 百万ドル増加の 17.2 百万ドル。調整後の継続事業の 1 株当たり純利益は 0.31 ドルでタルボット社が事前に公表したガイダンスを大きく上回る
- ・リストラ・減損費用を除いた調整後営業利益は 24.1 百万ドルと、前年同期に比べ約 39 百万ドルの増加。公表（米国 GAAP）ベースの営業利益は 22.4 百万ドル（リストラ・減損費用を含む）で、前年同期に比べ約 41 百万ドル増加
- ・総売上は 13.5%減少に止まり、タルボット社予想を僅かに上回った。予想の通り、総売上は、値引き商品の販売が非常に低迷したことの悪影響を受けた（値引き商品の売上は前年に比べ約 38%低下）
- ・定価販売は期中で約 2%下落したが、月を追う毎に大きく好転した。10 月の定価販売は前年比 10%増加した
- ・ダイレクト・マーケティング部門の売上はほぼ前年並み。2 つの主要なカタログが貢献した（9 月・10 月とも前年比で増加）
- ・商品粗利益率は、好調な値入率と定価販売の増加により前年に比べ 9.8 ポイント上昇
- ・販売管理費は 3.5 ポイント低下。前年に比べ 28 百万ドルあるいは 22%の減少
- ・第 3 四半期までのコスト削減総額は約 94 百万ドル。タルボット社は、2009 年度末までに、2010 年度の目標である 150 百万ドル（年換算ベース）をほぼ達成できるものと見込んでいる
- ・期末の在庫総額は昨年比 60 百万ドル減少（平方フィート当たり 29%の減少）

継続事業の総売上は、タルボット社の予想を僅かながら上回り 308.9 百万ドルで、昨年は 357.3 百万ドル。店舗売上は 255.4 百万ドルで、昨年は 303.5 百万ドル。既存店売上は 15.9%下落。

カタログ、インターネットを含むダイレクト・マーケティング売上は 53.5 百万ドルで、前年同期は

53.8 百万ドル。

包括的資金調達策を打ち出し

本日別途発表されたプレスリリースにおいて、タルボット社は負債比率を減少させ成長を加速させるための包括的資金調達策を打ち出しております。本調達策は3つの関連取引によって構成されています:タルボット社及びBPW Acquisition Corp.による合併合意・計画書(タルボット社がタルボット社普通株式を用いてBPWを買収);タルボット社の大株主であるAeon (U.S.A.), Inc.が現在保有する全ての株式の消却;タルボット社の既存負債全額の返済及びGE Capitalからの200百万ドルのシニア担保付リボルビングファシリティに関するコミットメント。

39 週間(9ヶ月間)における業績

39 週間の継続事業の調整後純損失は(リストラ・減損費用を除く)12.8 百万ドル(1株当たり0.24ドル)。前年同期の純損失は103 千ドル(1株当たりほぼ0ドル)。

公表(米国 GAAP)ベースの継続事業の純損失は23.8 百万ドル(1株当たり0.44ドル)で、11 百万ドル(1株当たり0.20ドル)のリストラ・減損費用を含む。なお、2008 年11月1日に終了した9ヶ月間における継続事業の純損失は8.2 百万ドル(1株当たり0.15ドル)で、8.1 百万ドル(1株当たり0.15ドル)のリストラ・減損費用を含む。

9ヶ月間における継続事業の総売上は919.7 百万ドルで、前年は1,167.3 百万ドル。店舗売上は766.7 百万ドルで、前年は982.9 百万ドル。9ヶ月間における既存店売上は22.8%下落。9ヶ月間におけるカタログ及びインターネットを含むダイレクトマーケティング売上は153.0 百万ドルで、前年は184.4 百万ドル。

業績見通し

2009 年度第4 四半期において、タルボット社は継続事業の純損失(リストラ・減損費用その他特別項目を除く)を1株あたり0.06ドルから0.14ドルの範囲内で予想しています。この業績予想は、約6%から8%の計画範囲内の減収率を前提としています。第4 四半期の売上高については、値引き商品の販売低迷の影響を受けると見込んでいます。当社の第4 四半期の目標は、利益率を向上させるためにより無駄なくリフレッシュされた在庫の下で事業を継続することです。

上記の業績見通しは、当社内の現時点における前提及び概算に基づき、添付の将来の業績に関する見通しの免責文言を条件としており、将来の業績を保証するものではありません。

サリバ CEO コメント:「当社は事業の継続的な成長及び収益性を向上させる戦略的計画を実施することに引き続き注力していきます。年末商戦がより本格化する中で、定価商品の販売傾向の改善によって裏付けられているように、当社の品揃えに対してお客様からご好評頂いている事を心強く思います。我々はこれまでの取り組みを継続することで、今後の業績をより強固にし、株主価値を向上させられると確信しています。」

その他の開示事項

当社には本年12 月後半から2010 年4 月にかけて満期を迎えるファシリティのもとで221 百万ドルの短期銀行借入残高がありますが、これらについて弁済期限は延長されておらず、借換えも行われておりません。タルボット社の既存の銀行借入は全額イオン株式会社(「イオン」)により保証されております。

イオンは2009 年4 月に当社に対して資金援助を行うコミットメントを提供しております。これに従い、2010 年4 月16 日以前に満期を迎える上記の銀行借入について、貸し手がリファイナンスに応じない場合、その返済に必要な額についてイオンは2010 年4 月中旬までを期限とする短期資金を提供することに合意しています。タルボット社は、短期銀行借入の返済を行うため、イオンか

らの本資金援助コミットメントに、イオンが提供している2010年4月満期の150百万ドル担保付リボルビングファシリティ(現在まで引き出されておられません)を組み合わせる予定です。当社は、短期負債の返済のための本追加資金調達の条件についてイオンと協議を行っておりません。

電話会議の詳細

既に発表の通り、2009年度第3四半期について討議するため、タルボット社は本日現地時間2009年12月8日10:00a.m.に電話会議を主催する。

ライブでお聞きになる方は、866-336-2423にダイヤルの上、パスコード“TLB”を入力するか、ウェブのwww.thetalbotsinc.com/ir/ir.aspにログイン。電話会議において、取引概略についての短いプレゼンテーションはwww.thetalbotsinc.comでアクセス可能。電話内容は、12ヶ月間www.thetalbotsinc.comに保存される。さらに、音声の再生は電話会議終了後より2009年12月10日まで可能。このアクセス方法は、(800) 642-1687にダイヤルし、パスコード44540924を入力すれば可能。

タルボット社は、婦人服、シューズ、アクセサリーの専門店と直販のリーディング企業である。2009年度第3四半期末において、46州とコロンビア特別区、カナダにおいて、589店舗を展開している。タルボット社のオンラインでのショッピングについては、www.talbots.comを参照。

以上